

☆ 中 国

炭素繊維

吉林化繊、ラージトウ炭素繊維工場を建設へ

吉林化繊集団は 10 月 12 日、中国最大級規模となる年産 1.2 万トンのラージトウ炭素繊維工場の建設に着工した。

投資総額は 18 億元。2,000 トン/年の生産ラインを 6 ライン建設する。工場が稼働すると、年平均の売上 13 億元、利益 1.98 億元、税 1.45 億元を実現すると見込まれている。第 1 期 2,000 トン/年ラインは、2017 年 10 月 1 日の稼働開始の計画である。浙江省精功集团有限公司、紹興衆富控股有限公司と共同出資し、共同建設するものである。

ここ数年、ラージトウ炭素繊維は、自動車、風力発電、軌道交通などの分野での応用が急速に拡大している。今後数年の需要量は年率 16%を超える成長が予想され、2020 年には、世界全体の需要量は 15 万トン以上で、うち中国は 7.7 万トンに達すると見込まれている。

中国ではラージトウ炭素繊維は本格的に生産されておらず、製品は全て輸入に依存している。吉林省政府と中国建材集团公司は先般、戦略的協力枠組み協定を締結し、吉林省に、①T800 級レギュラートウ炭素繊維模範生産ライン(年産 1,500 トン)、②工業級炭素繊維ラージトウ原糸(プリカーサか?) (年産 4 万トン)、③2 万トン炭素繊維(年産 2 万トン)などの生産ラインの建設を全力を挙げて推進し、2025 年までに、省全体の炭素繊維産業で、原糸能力 20 万トン、炭素繊維能力 10 万トンの実現に向けて努力することとなった。吉林化繊の今回のラージトウ計画は、この戦略的協力協定締結後初めて正式に着工となったプロジェクトとなった。

現在、吉林化繊集団は、国内最大の炭素繊維原糸生産ラインを所有し、年産能力は 8,000 トンに達している。今回建設される 1.2 万トン/年ラージトウ炭素繊維計画は、吉林化繊の産業チェーンを拡張する重要な計画で、中国のラージトウ炭素繊維の空白を埋めるものと期待されている。

☆ 米 国

M & A

ITG、投資会社 Platinum Equity に買収される

International Textile Group, Inc. (ITG) は 10 月 24 日、同社が投資会社の Platinum Equity に買収されたと発表した。ITG は会社として存続し、Platinum Equity 傘下の非公開企業として活動を継続する。ITG の社長兼 CEO である Kenneth T. Kunberger 氏は引き続き、新会社で指揮を執る。

ITG は、投資会社の WL Ross & Co. LLC が、Burlington や Cone など大手テキスタイル企業を買収して設立された。自動車、産業資材、ユニフォーム、アパレル向けに繊維製品を提供しており、Burlington、Cone Denim、Safety Components、Carlisle Finishingなどを展開している。米国、メキシコ、中国に工場を有し、その従業員数は世界で 4,800 人である。

Platinum Equity は 1995 年に設立された投資会社。これまでに 185 以上の企業買収を行っている。